

## 研究計画書

ゼミ名	上島ゼミⅡ	チーム名	ハッピーウェディング上島
タイトル	結婚しようよ。		
テーマ群	c)公共経済		
メンバー	池見董、伊藤直人、岡垣武眞、川谷累二、小島正人、小寺雅也、 田坂ひかる、林拓弥、藤井仁美、村上加奈、		
研究計画内容	<p>研究の目的は、一つ目に、日本の未婚化の現状を整理して、それがもたらす弊害を指摘することである。二つ目には、結婚選択のメカニズムを解明して、未婚化問題に対する解決策を示すというものだ。</p> <p>内容としては、まず未婚化の現状を述べる。次に、その未婚化がどのような問題を引き起こすかという、弊害を提示する。さらに未婚者が結婚相手に求める条件として、女性は特に経済力というものをあげており、結婚相手への最低限の所得の水準を求めること、すなわち留保水準の存在を説明する。その留保水準を満たす相手が減少していることと、くわえてそれが上昇傾向にあり、結婚を困難にしているということを示していく。</p> <p>以上の問題を、統計を用いて説明するとともに、実際に自分たちで行った甲南大学の学生への結婚についてのアンケートや、神戸・岡本地域の 3 つの大学生協の支援で設立された、結婚をサポートする合同会社 UNIV. キャリアパートナーへのインタビューを行った結果から、客観的な分析に基づいて考察していく。最後に、研究で明らかになった未婚化の原因に対して、これからどのような対策を取れば未婚化を防げるのかについて、自分たちがたどり着いた結論を述べたい。</p> <p>研究から期待される成果は、人々が結婚に踏みだすにはどのような要素が関わっているかという、結婚のメカニズムの解明と、それを理解することによって見えてくる、日本の未婚化を防ぐための、現実的な手段を提案することである。</p>		